

「第1回利用団体説明会」

1. 趣旨

国立赤城青少年交流の家を利用する団体の引率者が、施設の利用方法や各活動プログラムの内容を理解するとともに、実際にプログラムの一部を体験する。

2. 事業の概要

(1) 期 日

令和6年5月2日（木）

(2) 参加者

①参加対象 令和6年度利用団体、利用の仕方の説明を希望する各団体の引率者

Aコース：5月3日～8月31日ご利用の団体

Bコース：6月4日～8月31日ご利用の団体

②参加人数 Aコース（応募11団体14名）

Bコース（応募10団体13名）

③参加者の内訳 小学校教諭10名、中学校教諭11名、高校教諭1名

社会教育団体指導者5名

3. 企画運営のポイント

(1) 体験を主としたAコースと施設説明を主としたBコースを利用期間に応じて選択できるように計画した。

(2) 両コースともゆとりある時間配分にして、参加者からの質問を受けやすい体制を整えた。

(3) 開催日を平日に設定し、学校職員が出張で参加できるようにした。

4. 日程

	午 前	午 後
Aコース	開会行事 野外炊事「カレーライスづくり」	野外炊事「カレーライスづくり」 キャンプファイヤー薪組み アドベンチャーラリー アンケート記入
Bコース	開会行事 施設利用説明 施設見学	施設見学 個別打ち合わせ アンケート記入

5. 主な活動内容



開会式



施設利用説明



施設見学（屋外）



施設見学（館内）



野外炊事体験「カレーライスづくり」



個別打合せ

6. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足 21名 (78%)、やや満足 6名 (22%)

(2) 参加者の声

- 初めての利用だが、丁寧な説明があり不安がなくなった。
- 野外炊事やキャンプファイヤーの説明では、実際に薪の組み方などを見せてくれたので分かりやすかった。
- 個別の相談では、丁寧に対応してくれて分かりやすかった。
- プログラム作りのポイントや施設の利用に関して昨年度からの変更点が分かった。
- アドベンチャーラリーについて概要を知ることができた。

(3) 成果

- Aコース、Bコースの選択制にしたことで、参加者のニーズに合った対応ができた。
- Aコースでは、プログラムとして実施することの多い野外炊事、キャンプファイヤー、アドベンチャーラリーを実際に体験することで、指導のイメージをつかむことにつながった。
- Bコースでは、「丁寧に対応していただき、プログラム作りの参考になった。」「適切な提案をいただいた。」などの感想が多いことから、ゆとりある時間配分が参加者の高い満足度につながった。
- 施設利用説明では、昨年度からの変更点を中心に伝えることで、参加者が今年度利用の際、注意する点を具体的に把握することにつながった。

(4) 課題

- 個別打ち合せに関しては、短いと感じる参加者もいたことから、次回は職員の分担や時間配分を工夫し、各団体十分な打ち合わせ時間を確保することが必要である。

担当：中山 太平